



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM 99 9月号

縄文人になって土器を作った！



体験学習「縄文土器を作ろう」より

夏休みの8月4・5・6・24日に4日連続の「縄文土器を作ろう」を行いました。参加された方は小学5年生10人・6年生11人、中学1年生1人、高校生1人の計22名です。作業内容は次のように行いました。

4日：午前中は「土器作り」のビデオを見た後、土器の作りの基本である「土」（粘土・砂・黒土）を練り上げました。土器は遺跡から出土したものの2点と複製品1点の中から、自分の作りたいものを選択してもらいました。午後は早速土器作りに入りました。最初は底の部分を作り、次に粘土紐をドーナツ状にして底の上に積み上げる輪積みの作業を繰り返しました。この日はほとんどの人が最初からやり直しました。

5日：今日も何人かは最初からやり直さなければならぬ事態が発生しましたが、何とか形は作り上げることが出来ました。実物の形に作り上げることに大変苦労したようです。

6日：出来上がった形に文様をつける作業を行いました。忠実に文様をつけることは細かい観察が必要となりますが、意外と楽しく作業を行っていたようです。

24日：炎天下で野焼きを行いました。焼成の最高温度が約1000度に達しますので、その時は想像以上のものがあつたようです。また、無事完成された作品には4日間の様々な思いが込められていたようです。

参加者の声

私は初めて縄文土器を作りました。土をこねるのに、とても力がいったいへんでした。土器の見本とそっ

くりにつくるように、先生に言われて作っても、何回も何回も先生に「形が変だ」と言われて、つぶされたけど、じょうずにできた時は、とてもうれしかったです。最後の日に、土器を焼く時は、とってもあつくて、大変で、やきあがるまで、われていないか、とっても心配でした。でも、われたのが一つもなく、少しヒビが入ったのがあっただけでよかったです。大変なことだらけだったけど、先生はおもしろいし、お友達も、できたのでよかったです。また、さんができたら、いいなおもいました。(山田 真弓)

私は、縄文土器なんて簡単に作れると思っていました。でも作ってみると、形は思いどおりに作れないし、

もようも上手につけられませんでした。この前、旅行で、縄文土器を見て来ましたが、とてもかざりがキレイで、(私って、なんて下手なんだろう。)と思いました。こんなことがあってから、縄文人って、すごかったんだと、つくづく思いました。(林田 遥子)

一人一人が実体験した今回の縄文土器作りの中には、手を動かし、観察する一連の作業の中に、縄文人の生活の技術・知恵や美意識が隠れています。そうした縄文人のくらしが、今どのように私達の生活に結びついているかを考えてみる必要があるかと思います。



科学教室で土器作りに挑戦する小中学生たち

考古学入門講座 参加者募集中

今年で4年目を迎える講座です。毎年テーマを変えながら実施していますが、今回は時代の物差しに使われる土器に主眼をおき、各時代の土器編年から地域の歴史を考えてみます。

場 所 博物館講堂

時 間 午後2時から3時30分

期 日 第1回 平成11年10月16日(土)

第2回 平成11年10月30日(土)

第3回 平成11年11月13日(土)

第4回 平成11年11月27日(土)

内容と講師

第1回 縄文時代の土器編年 長岡文紀氏(神奈川県教育委員会)

第2回 弥生時代の土器編年 伊丹 徹氏(神奈川県教育委員会)

第3回 古墳時代の土器編年 長谷川厚氏((財)かながわ考古学財団)

第4回 奈良・平安時代の土器編年 河野喜映氏(神奈川県教育委員会)

定 員 100名、多数の場合は抽選とする。

申 込 往復葉書(住所・氏名・年齢を記入)による申し込みで、無料。できれば4回連続参加できる方。

流れ星がまるで雨のように降る現象が見られることがあります。それは流星雨と呼ばれ、それを体験した人は、「まるで地球が流星の降る方へと向かって突き進んで行くようだった」と語っています。

記録に残る流星雨のうち、多くがしし座流星群がもたらしたものです。

1799年11月にドイツの探検家フンボルトが南米で流星雨を記録し、以来、33年毎に活発に活動するしし座流星群の流星雨が知られるようになりました。

昨年、「その流星雨が日本でも見られるかもしれない」と話題になり、11月18日の明け方に多くの人々が空を見上げましたが、結果は流星雨とはなりませんでした。しかし、速く明るい流星に歓声があちこちからあがるのが聞かれました。



流星雨はきわめて短時間に限られた地域でしか見られない現象です。流星雨が見られた1966年のアメリカの記録によると、1時間に10万個にもなるのです。あなたも流星雨を体験してみませんか。

秋期特別展「相模の道祖神(サイノカミ)」のお知らせ

10月9日(土)から11月23日(火)まで、特別展示室にて秋期特別展「相模の道祖神」を開催します。展示室には、大磯左義長のサイトを中央に立て、お仮屋やヤンナゴッコなども展示して祭りの雰囲気を演出します。また、道祖神塔をはじめ、藁人形や華やかな道祖神山車などとともに、相模各地の道祖神やサイトバライの写真を多数紹介します。

このうち、道祖神の山車についてご紹介しましょう。相模で1月14日のサイトバライに山車が出るのは、足柄地方の平野部に限られ、現在も続けているのは、小田原市、松田町、山北町などのごく一部の地域です。今回、展示する山車は、山北町山北池田庭道祖神講中のご厚意でお借りするものです。

山北では14日のどんど焼きが終わった後、「庭回り」と称して各庭内を山車を曳いて回り、翌15日午前中に再び庭回りを行い、午後には各庭の山車が勢揃いして山北中をパレードします。この様子を一目見たいと思っているのですが、一昨年の成人の日は大雪、昨年のみぞれで、パレードは中止になってしまいました。山車には、花笠や提灯などが華やかに飾り付けられます。提灯は子供の生まれた家で奉納し、百個くらい飾り付

けられます。花笠を付けると特別展示室の天井すれすれまで高くなる大きなものです。この山車を一目見れば、相模のサイトバライがいかに盛んであるかお分かりいただけるのではないのでしょうか。

展示を通して、サイノカミサンの持つ不思議な魅力を皆様と一緒に探っていきたいと思います。どうぞお楽しみに。



博物館カレンダー

1999年9月

1	水	☆ 寄贈品コーナー「月」 (~9月11日)	展示室
2	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
3	金	古文書講読会	講堂
4	土	地質調査会	科学室
5	日	民俗探訪会	野外
8	水	博物館実習(学芸員志望大学生) (~9月16日)	博物館
9	木	石仏を調べる会	特研究室
10	金	古文書講読会	講堂
11	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		天体観察会「黒点」	屋上
		☆ プラネタリウム「流星雨の降る夜」 (~11月7日)	プラネ室
12	日	○ 自然観察会	野外
16	木	☆ 寄贈品コーナー「実習生展示」 (~10月31日)	展示室
17	金	古文書講読会	講堂
18	土	地質調査会	野外
19	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		古代遺跡を探す会	野外
22	水	地質調査会	特研究室
24	金	古文書講読会	講堂
25	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
26	日	相模川の生い立ちを探る会	金時山

1999年10月

1	金	古文書講読会	講堂
		☆ 寄贈品コーナー「実習生展示」 (~10月31日)	展示室
2	土	○ こども観察会	相模川
		地質調査会	科学室
		☆ プラネタリウム「流星雨の降る夜」 (~11月7日)	プラネ室
3	日	民俗探訪会	野外
8	金	古文書講読会	講堂
9	土	☆ 特別展「相模の道祖神」 (~11月21日)	特展室
14	木	石仏を調べる会	特研究室
15	金	古文書講読会	講堂
16	土	○ 考古学入門講座「土器の編年」	講堂
		天体観察会	屋上
17	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		地質調査会	野外
20	水	裏打ちの会	科学室
		地質調査会	特研究室
22	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「月と木星」	屋上
23	日	相模川の生い立ちを探る会	大涌谷
		土	空襲と戦災を記録する会
24	日	古代遺跡を探す会	野外
		☆ 特展記念「道祖神講演会」	講堂
28	木	石仏を調べる会	特研究室
30	土	○ 考古学入門講座「土器の編年」	講堂

☆寄贈品コーナー「実習生による展示」

毎年9月には、博物館学芸員の資格をとろうとしている大学生が実習にやってきます。その実習の中で、いちばん大きな仕事がこのコーナーの展示を作ることです。今年はどんな展示ができるでしょうか。

会期：9月16日(水)～11月7日

☆プラネタリウム「流星雨の降る夜」

- ・期間：9月11日(土)～11月7日(日)まで
- ・土日の 11時と14時
- ・観覧料：100円 (p.3参照)

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料)

○：申込制 ◎：自由参加
その他は年間会員制

◎ろばたばなし

相模地方の伝説と昔話を語ります。

日時：9月19日(日)午後1時半と3時
場所：1階展示室民家内 参加：自由

◎漂着物を拾う会

虹ヶ浜海岸で漂着物を探します。

日：9月11日(土)
時間：9:30～11:00 参加：自由
集合：花水川橋平塚側たもと

◎自然観察会

「鳴く虫の声を聞こう」

日時：9月12日(日)午後4時～9時
場所：市内土屋
申込：9月5日までに往復ハガキで。

あなたと博物館 24巻6号通巻272号 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel. 0463-33-5111 Fax. 31-3949